

2025 年度

I r D 小 論 文

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。鉛筆またはシャープペンシル・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4頁までとなっています。試験開始後、ただちに頁数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子とメモ用紙は持ち帰ってください。

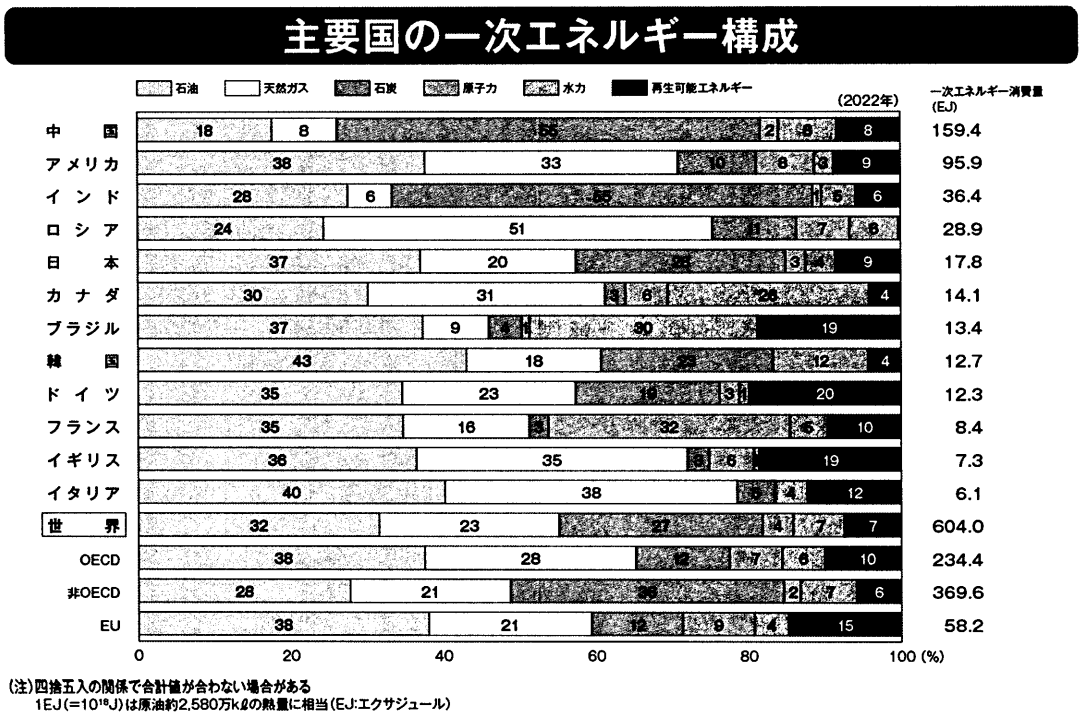
〔設 問〕

主要7か国（G7）は、石炭火力を2035年までに廃止するという共同声明を出した。以下のグラフによると、各国の一次エネルギー構成率では、アメリカが81%、中国は81%、日本では85%を、石炭や石油などの化石燃料を燃やす火力発電に頼っている。一方、フランスは原子力発電、ブラジルは水力発電、またドイツは再生可能エネルギーの割合が高めになるなど、国の政策によってエネルギー供給のあり方は異なる。

日本は、現在、電力の供給が非常に不安定になり、電力価格が高騰している。エネルギー政策をめぐる日本の動向についてまとめ、あなたが必要だと思うこれからのエネルギー供給のあり方と、方向性について具体的に論じなさい（1000字程度）。

注

一次エネルギー：自然から採取されたままの物質を源としたエネルギー



(出所：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」より引用)